

子どもゆめ フェスティバル2018



ステージ発表の様子



ブースの様子

市内の子ども会に所属する子どもたちが中心となって企画・運営する「子どもゆめフェスティバル2018」が平成30年11月17日(土)に長崎県立総合体育館サブアリーナにて開催されました。天候に恵まれ、約1,400名の方々が集い、ステージ発表とブース発表で会場内は大いに賑わっていました。

長崎市子ども会育成連合会長 久米 直

広報キャンペーン

平成30年12月2日(日)に広報キャンペーンを行いました。本年度は外海・黒崎地区から琴海地区を訪問し、道中は青少年の健全育成活動について啓発のアナウンスを行いました。また、村松小学校や横尾小学校で行われていた各校区青少年育成協議会の餅つき大会等の行事に立ち寄り、子どもたちの輝く笑顔に出会いました。



これから市民会館を出発します



訪問地での行事活動の様子

広報啓発専門委員会 委員長 吉田 眞勝

広報紙コンクール 表彰式

第25回広報紙コンクールで次の育成協の皆さんが表彰されました。

★ グランプリ	「しおかぜ」(香焼中学校区青少年育成協議会)
★ 準グランプリ	「青少年育成協議会便り」(土井首中学校区青少年育成協議会)
★ 準グランプリ	「いくせいきょう」(小ヶ倉中学校区青少年育成協議会)
ベスト記事賞	「かつぱ」(江平中学校区青少年育成協議会(銭座小学校区連合子どもを守る会))
ベスト写真賞	「かぐら」(式見中学校区青少年育成協議会)
ベストキャッチコピー賞	「ほうとおさん」(女の都小学校区青少年育成協議会)
ベストレイアウト賞	「広報にしうらかみ」(西浦上小学校区青少年育成協議会)
会長賞	「育成協だより」(小島中学校区青少年育成協議会)
こどもみらい課長賞	「すまいる」(村松小学校区青少年育成協議会)

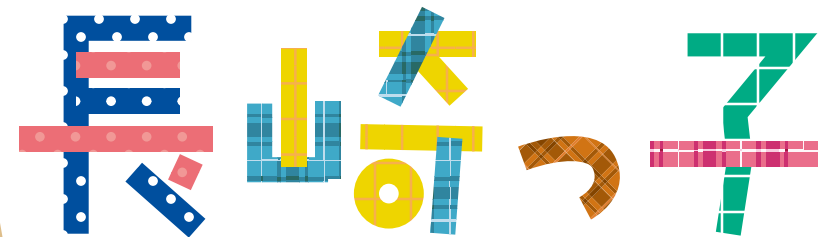


平成最後となる今年度の広報紙コンクールには19の青少年育成協議会から応募がありました。どの作品も工夫が凝らされ、審査会では審査員の頭を悩ませる力作ばかりでした。なお、平成29年度にグランプリを受賞した大浦中学校区青少年育成協議会には本年度の審査に加わっていただきました。次年度のコンクールも実施予定ですので、ぜひ奮ってご応募ください。

編集後記

千葉の小4女児が父親の虐待で命を落とすという悲しいニュース。子どもが被害者となる痛ましい事件や事故が後を絶ちません。このような悲しい出来事が繰り返起きないことを切に願いたいと思います。

今号の特集は「青少年育成協議会活動事例発表会」。子どもの健全な育成をめざし、各々が考え、実行に移した活動の紹介です。子どもの笑顔に元気をもらいながら、子どもの健やかな成長を願い、今後も青少年健全育成活動を続けていきたいと思います。



今号の内容

- ・活動事例発表会
- ・広報キャンペーン
- ・編集後記
- ・子どもゆめフェスティバル2018
- ・第25回広報紙コンクール表彰式
- 〔広報誌コンクールの目的〕広報活動の活性化と必要性の認識



日吉中育成協「大運動会」



城山小育成協「子ども食堂(食育教室)」

育成協活動事例発表会

会場：メルカつまち5階 市民生活プラザホール



梅香崎中育成協「クリスマス会」



緑が丘中育成協「そうめん流し大会」

➡ くわしくは次ページの発表報告をご覧ください。

育成協活動事例発表会

2月2日(土)
場所：メルカつまち
長崎市民生活プラザホール

市内の青少年育成協議会(通称：育成協)の日頃の活動について発表する機会にするとともに、育成協の活動情報を共有・周知しながら、青少年の健全育成活動の活性化を図ることを目的として開催しました。



三校統合と育成協行事について

梅香崎中学校区青少年育成協議会(南公民館区)

本育成協は、平成19年度に北大浦、南大浦、浪の平の3つの小学校が統合され、大浦小学校ができたことにより誕生しました。それぞれの小学校の歴史は古く、小学校の創設は明治までさかのぼります。

三校にあった小学校区の育成協では、それぞれ独自の活動をしていましたが、学校統合により中学校区の育成協となったことで、活動を選ぶことになりました。現在は、地域交流会、ドッジビー大会、地域大清掃、クリスマスレクリエーション、子育て支援講座を行っています。

私たちの育成協はこれからも子どもたちを見守るための活動を続けていきます。



子育て支援講座



ドッジビー大会



地域大清掃

会長
野村 孝一



活動事例報告

緑が丘中学校区青少年育成協議会(北公民館区)

本育成協は、西町小学校と西城山小学校の2つの支部で構成されており、各支部で子どもたちを「守る・楽しませる・笑顔にする」を基本として、様々な事業を行いながら青少年の健全育成に尽力しています。

今年度から始まった「緑中ボランティアデー」では、緑中PTAに全面協力して、人のために役立つことの喜びを子どもたちと一緒に体験することができました。

今後も本育成協は地域の青少年の健全育成に携わっていきます。

少年少女綱引き・ドッジボール大会

緑中ボランティアデー



会長
山崎 克也



親子親睦球技大会

地域の中で少人数の子どもたちを保護者全員で見守り育てる育成協活動

日吉中学校区青少年育成協議会(中央公民館区)

本育成協は「日吉っ子をのびのびと育てる」を目標に、少人数での活動になりますが学校・PTA・自治会・老人会、そして中央公民館区の皆様と共に活動しています。

地域の方々の温かな眼差しのもと、保護者の積極的な参加と児童生徒の和気あいあいの中、ほのぼのと取り組む様々な活動が本育成協の特徴です。

会長
大見 正宏



ピースフェスタスタッフ

絆を深める「大運動会」

地域で創る子ども達の居場所づくり「子ども食堂」について

城山小学校区青少年育成協議会(西公民館区)

本育成協は「絆」「平和」「居場所」の3つのテーマを掲げ活動しています。地域コミュニティを形成し、地域自治を進めるための「絆を深める大運動会」、「長崎を最後の被爆地に」をテーマに掲げ、1,400名もの児童を原爆で亡くした使命として「原爆絵画展」や「しろやまピースフェスタ」、そして食育教室として「子ども食堂」を開催し、子どもの居場所づくりを行っています。これからも、地域のみんなで子どもたちの安全や思い出づくりにつとめ、『子ども達が戻ってきたくなる町』を合言葉に活動していきます。



絵画展

会長
山本 信幸



Q & A 会場で出た質問

Q (城山小学校区育成協の) 子ども食堂のことについて、これから始めたい皆さんに「これをしてあげばいい」とかいうことがありますか。

A スタッフ集めです。地域の調理学校やボランティアの協力者に助けられています。定期的な開催の際はスタッフへの負担がかかり過ぎないようにすることです。子どもたちの楽しそうに食べる姿が励みになっています。

Q (緑が丘中学校区育成協の) ボランティアデーの成り立ちとは？

A 育成協主催のクリーンウォークが発端でした。育成協メンバーの状況を見ながら継続させていく方法を学校などと相談したところ校長先生やPTAが快く聞き入れてくれ、学校との共催として開催の運びとなりました。



地域ボランティア募集中

問い合わせ：長崎市青少年育成連絡協議会事務局
(長崎市こどもみらい課内) ☎095-825-1949

長崎市の各育成協ではイベントや祭りなどを手伝ってくれるサポーターを募集しています。「空いている時間だけでも手伝いたい」という方は、長崎市青少年育成連絡協議会事務局(長崎市こどもみらい課内)までお知らせください。ご近所の育成協を紹介いたします。